



2013-3



2012-2013

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Rotary International District 2640

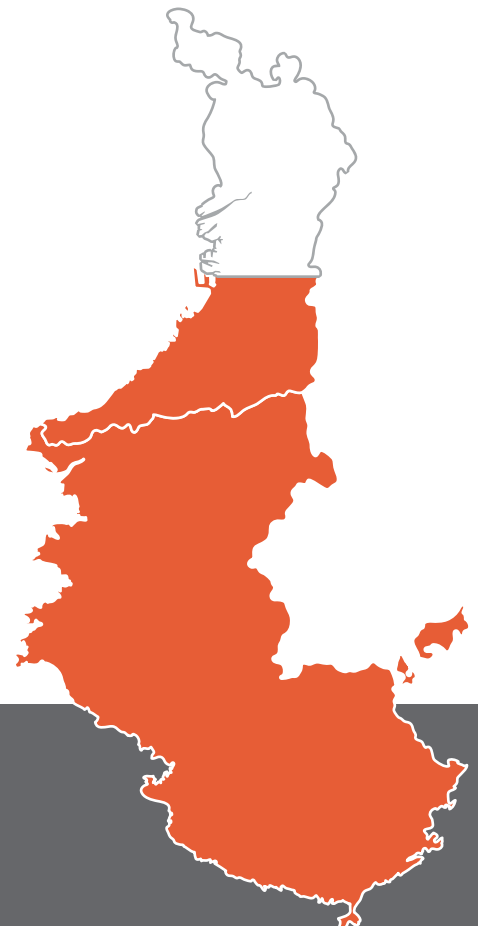
行事報告

持続可能なプロジェクトを行う2つのクラブ
アウンサンスーチャーさんに平和賞を授与
ブライダル委員会より

お知らせ
超我の奉仕賞受賞

地区社会奉仕委員会顧問 笹島良雄
社会奉仕について、識字率向上月間

R-1会長メッセージ
ガバナーメッセージ



国際ロータリー第2640地区

2012-2013年度ガバナー 北中 登一

590-0021 大阪府堺市堺区北三国ヶ丘町1丁1番16 C棟14号

TEL:072-224-2640 FAX:072-224-2650

<http://www.rid2640g.org/kitanaka/>

2012-13年度 国際ロータリー会長

青少年交換が平和を繋ぐ

田中 作次

朋友ロータリアンの皆さん、私は若いころ、世界中を旅したいと思っていました。しかし当時は、旅を夢見ることしかできず、海外をはるか遠くの世界のように感じていました。とはいえ、日本では誰もがそうするように、私も学校で英語を勉強しました。最初の教科書の1ページ目に「This is a pen」と書かれていたことを今でも覚えています。もう50年も前のことです。それから、世界は大きく変わり、私はロータリーの会長として、かつて夢見た以上に世界中を旅しています。

世界中の人と交流する喜びを感じる

初めての場所を訪れると、初めての言葉、人々、慣習に出会います。私は、行った先々でお目にかかる方々から学ぼうと全力で努めています。お目にかかる人から学ぶことがあるはずだと信じているからです。このように考えると、ロータリーの青少年交換プログラムの意味がより深く理解できると感じます。そして、青少年交換を通して、ロータリーがいかに素晴らしい贈り物をしているかがわかります。青少年交換は、数々の心を開かせ、信頼や心の交流を築きます。また、国や背景が異なる人々を一つにすることができます。

青少年交換に参加した若い人たちは皆、多くのことを学びます。自分とは全く違うと思っていた人たちが、実は全く同じであることを学び、世界中の人々と交流する喜びを感じるようになるでしょう。彼らは世界についての理解をより深め、別人のようになって帰国します。

彼らは、もはや一つの言語、一つの文化を知っているだけではありません。彼らには、訪れた国やそこで出会った他の国からの参加者とのつながりを持っているのです。期間が終わるころには、ホストファミリーの一員となっていることでしょう。こうして青少年交換学生たちは、世界で最も大きくて国際的な家族である、ロータリー家族の一員となります。

青少年交換はロータリーの使命を担う

ロータリーの青少年交換プログラムは、40年以上にわたって充実した活動を継続し、今日、第五奉仕部門である「新世代奉仕」の一部となっています。この奉仕部門には、インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）などのプログラムのほか、30歳までの若者を対象としたクラブや地区の活動が含まれます。

若者に力を注ぐことで、ロータリーの未来と、より平和な世界を築くことができます。青少年を支援することで、新たな世代にロータリーを引き継ぐことができます。また、国境や文化の壁を超えた理解の輪が広がります。私たちは支援の手を差し伸べることの大切さを教え、ロータリーの中核となる価値観を伝承することができます。このようにして、私たちは平和の構築を支援しています。

青少年交換は、一つひとつの交換を通して国と国との間の関係を育み、平和な世界を築くというロータリーの世界的使命の本質的な要素を担っています。

SAKUJI TANAKA

田中作次



2012-13年度 第2640地区ガバナー

北中 登一

残寒なお厳しいとはいえ、花の季節となって参りました。関根けいさんというお方が、〈自然を愛して〉と題して、次のように謳っておられます。花は美しくて優しい。花は人を慰めてくれる。花は人に愛される。花はどのように踏まれても耐えて春を待つ。花は人の心を明るくする。

人は自然を愛しながら、お互いに親切を尽くし、世の中を明るくするような人になりたい。花のように、木のように。

花見に、紅葉狩りと楽しむことはあっても、その花々や木々の無言の忍耐を考える事があるだろうか。冬を迎え、やがては枝を離れる木の葉でさえも、散ってやがては朽ち果てても、若木を育てる堆肥となって、又来る春を待つ。自分を顧み、美しい花や木に学び、落ち着いて足元を見つめ、自然の姿について考えるようにつとめたならば、お互いに気持ち良く明るく暮らせるのではないだろうか。『花を愛し、人を愛し、心はいつも花のように、木のように』そんなロータリアンになりたいものであります。

3月は識字率向上月間 (Literacy Month) であります。識字率向上は1986年以来、国際ロータリーの強調事項となりました。地域の識字水準の向上が地域の生活水準に直結するとの観点から、ロータリーの色々なプログラムを通じて、読み書きや計算の出来ない人達に愛の手を差し伸べる事となったのです。読み書き算盤の習得は、日々の生活に必須の学問であります。日本人は、少なくとも江戸時代には、商人を含む市民の場合は寺子屋で、武士は私塾にて学問するのが常でした。然るに悪しき習慣のために、一部の人、即ち、同和関係の人々はそれらの中で読み書き、算盤も学ぶ事が出来なかったのです。その名残が今でもあり、特に年配の方の中でごく少数ですが、字も書けない、算数も出来ない事実があります。世界に目を向け、十分な教育がなされていない国々に、学校を建て、本を送り、或いは先生を派遣して、文盲のないような国にする手助けは、言うまでもありませんが、日本国内においても、ごく少数ではありますが、文盲の人がいることの認識も必要かと思えます。

昨月の9日と10日にかけて、串本RCの主催にて開催されましたIM1組のintercity meeting に出席して参りました。今回は特に、串本は大島に纏わる歴史的な背景、かつてオスマン帝国海軍の軍艦が台風のため、大島沖で座礁した時、大島住民挙げて、必死になって救助活動された事、又、歴史的には浦賀沖にペリーが来日した時をもって、日米の通商が始まったとされているが、それより62年前、既に大島にアメリカの商船、レディ・ワシントンが来航した事などを中心に、とても充実したIMとなりました。色々な方々との出会いの中で、やはり親睦は大事だと、つくづく思いました。私は『面受』という言葉が好きですが、今回『面受』こそが、ロータリーにとり基本であり、必要且つ重要なものと再認識したのです。楽しい一時を過ごすことが出来、これからも各地域での親睦活動が活発に行われることを願います。

皆様方の益々のご活躍をお祈りしております。



地区社会奉仕委員会 顧問

笹島 良雄



社会奉仕活動

社会奉仕活動のことを「ロータリーの心臓の鼓動である。」と表現される事もあります。脈々として培われてきた奉仕の鼓動を各クラブが、それぞれの態様で地域のニーズに対応し具現化してゆくのが、ロータリーの社会奉仕であり、使命であります。有効な奉仕活動は地域でのロータリーの評価となり、そしてその志に共鳴する同志が現れ会員増強につながります。又会員が汗を流しての奉仕は、相互の友情をより高いものにします。

ロータリーの奉仕は、思いつきや片手間にすることでも、たまに取り組んでみる事ではありません。奉仕とは生き方であり、「思いやりの心を重んじる」事です。生活の多くの場面で奉仕を心がけ、より良い平和な社会を目指しましょう。

識字率向上運動〈2640地区推奨〉

国際ロータリーは、世界運動として、識字率向上を重要課題に採択し、3月度を強調月間として推進して居ります。この運動はユネスコ協会と提携して居ります。第2640地区も継続して、この運動を進めて来ました。現在、会員の方々の理解が深まり、本当に多くの現金、カード、切手、ハガキ等が寄せられ感謝致して居ります。ユネスコ協会も大変喜んで頂いています。

しかし、世界には未だ約9億人の読み書き出来ない方が居られ、それが原因で貧富の差が拡大、紛争の発生、人口問題、環境問題等々諸悪の根源はここにあります。

地区、ロータリーとして今後もこの運動を推進するべく努力致します。皆様の理解と御協力を切望致します。

「ロータリー100年の森林」国際ロータリー100周年記念事業の継続

国際ロータリー創立100周年記念社会奉仕プロジェクトとして和歌山県緑化推進委員会と協働して、高野町の有田川源流内子谷の国有林3.1ヘクタールを借り、伐採済みの山に〈2640地区で2,424万円の寄付を頂き〉2,424本の選んだ木を植え、今は豊かに育ちつつあります。大変壮大なる事業でありロータリーとしては珍しい継続性があり、将来を考えたものでした。この事業は、

- ・和歌山県より「森林による二酸化炭素の吸収等の環境保全活動」として認証を受ける。
- ・国際ロータリーでは「ロータリー100周年記念プロジェクト」として登録、永久記録。

この事業の協働協定は平成15年12月13日から平成26年3月31日迄となっています。この貴重な記念すべき事業を同化させてはなりません。

協定の改定に向けて努力致します。皆様の御協力を宜しくお願い申し上げます。

新入会員のご紹介



橋爪 誠治
はしづめ せいじ

所属クラブ：有田
職業分類：損保代理店
生年月日：1971年4月19日



豊川 文雄
とよかわ ふみお

所属クラブ：羽曳野
職業分類：外科医
生年月日：1937年7月8日



萩 誠治
はぎ せいじ

所属クラブ：羽曳野
職業分類：パン製造業
生年月日：1964年12月17日



富桝 泰史
とみます たいし

所属クラブ：橋本
職業分類：介護用品販売
生年月日：1957年3月12日



角谷 太基
かくたに ふと基

所属クラブ：海南東
職業分類：家庭用品販売
生年月日：1965年2月1日



田中 祥秀
たなか よしひで

所属クラブ：海南東
職業分類：自動車販売・整備
生年月日：1974年5月2日



後 誠介
うしろ せいすけ

所属クラブ：那智勝浦
職業分類：自然史教育
生年月日：1952年12月26日



神吉 宏久
かんき ひろひさ

所属クラブ：堺
職業分類：建築工事
生年月日：1963年1月3日



平岡 正至
ひらおか まさし

所属クラブ：和歌山東
職業分類：建設業
生年月日：1979年5月15日



吉増 亨
よします とおる

所属クラブ：和歌山東
職業分類：情報サービス
生年月日：1971年2月24日



田邊 誠
たなべ まこと

所属クラブ：和歌山南
職業分類：建設
生年月日：1953年7月17日

訃報



村木 重彦 様
橋本RC

1932年10月18日 生
2013年1月13日 死去

在籍期間：39年9ヶ月
職業分類：医薬品配布
表彰：マルチプル・ポール・ハリス・フェロー2回ベネファクター
第3回米山功労者 マルチプル



山條 康次 様
羽衣RC

1944年7月1日 生
2013年1月4日 死去

在籍期間：21年6ヶ月
職業分類：不動産賃貸
表彰：マルチプル・ポール・ハリス・フェロー4回
第4回米山功労者 マルチプル



岡 敬三 様
堺東RC

1927年5月3日 生
2013年1月27日 死去

在籍期間：40年9ヶ月
職業分類：内科医
表彰：マルチプル・ポール・ハリス・フェロー3回ベネファクター
第4回米山功労者 マルチプル



川崎 勇 様
和歌山RC

1927年1月5日 生
2013年1月19日 死去

在籍期間：40年10ヶ月
職業分類：青果販売
表彰：マルチプル・ポール・ハリス・フェロー2回
第2回米山功労者 マルチプル


 PHF・MPHF・ベネファクター 認証者
 
 2013年1月

F・・・ポール・ハリス・フェロー 数字・・・マルチプル・ポール・ハリス・フェロー BE・・・ベネファクター

Club	Name	
Wakayama East	Masaya Akai	F
Wakayama South	Hiroki Uenishi	F
Wakayama South	Naoko Miyashita	F
Wakayama South	Shiyoji Okuwa	F
Wakayama South	Yoshiaki Yamamoto	F
Wakayama South	Yoshifumi Nozima	F
Izumi	Kishio Iida	2
Izumi	Shoji Oka	2
E-Club of Senshu Kumatori	Mr. Haruo Kubo	8
Kainan East	Takao Yagyū	1
Sakai Ooizumi	Ryuzo Uchiya	2
Sakai Phoenix	Akihiro Nakai	4
Takaishi	Takeshi Bando	2
Takaishi	Tatsutsugu Aoki	4
Wakayama East	Koichi Horii	2
Wakayama East	Tadao Horioka	2
Wakayama South	Akira Horii	1
Wakayama South	Akira Nishikawa	1
Wakayama South	Atsumi Kubota	2
Wakayama South	Fumikazu Ura	1
Wakayama South	Hiroaki Iguchi	2
Wakayama South	Hiromu Maeshima	1
Wakayama South	Hiroo Simatani	1
Wakayama South	Hisao Oobayashi	2
Wakayama South	Ichizo Okada	3
Wakayama South	Kanji Maekubo	2
Wakayama South	Kaoru Bishari	1
Wakayama South	Katsumi Minakata	3
Wakayama South	Kazuhiro Kusube	3
Wakayama South	Kazuki Yamada	2
Wakayama South	Kazuko Nakamura	1
Wakayama South	Kazuo Naka	1
Wakayama South	Kazutaka Kawamura	3
Wakayama South	Kikuo Miki	1
Wakayama South	Kimiyuki Tamura	3
Wakayama South	Kodo Maeda	4
Wakayama South	Koichiro Arida	2
Wakayama South	Kokichi Fuku	1
Wakayama South	Kooji Naruse	1
Wakayama South	Kosaku Hatakenaka	5
Wakayama South	Kunitoshi Kashihata	1


 PHF・MPHF・ベネファクター 認証者
 
 2013年1月

F・・・ポール・ハリス・フェロー 数字・・・マルチプル・ポール・ハリス・フェロー BE・・・ベネファクター

Club	Name	
Wakayama South	Mamoru Yamada	1
Wakayama South	Masaji Anda	2
Wakayama South	Masakatsu Ono	1
Wakayama South	Mitsuhiro Iwasaki	1
Wakayama South	Mitsuo Kozaki	3
Wakayama South	Motoyuki Takimoto	2
Wakayama South	Naoya Ikoma	1
Wakayama South	Norio Ooyama	2
Wakayama South	Osamu Katagiri	2
Wakayama South	Riyuzo Kajjoka	1
Wakayama South	Sei Yamanaka	3
Wakayama South	Shigeki Nogami	1
Wakayama South	Shigeru Kusuyama	3
Wakayama South	Shinji Nakamura	1
Wakayama South	Shoji Tanaka	2
Wakayama South	Sogo Nomura	1
Wakayama South	Tadayoshi Hashimoto	4
Wakayama South	Takahiko Miyamoto	3
Wakayama South	Takehiro Fujita	1
Wakayama South	Tatuhiko Shimamura	1
Wakayama South	Tetsuo Shibata	1
Wakayama South	Toshihiro Tamai	1
Wakayama South	Toshiki Yoshimura	4
Wakayama South	Toshiyuki Imanishi	1
Wakayama South	Tuneo Murakami	2
Wakayama South	Yasufumi Toyoda	1
Wakayama South	Yasuharu Minakata	3
Wakayama South	Yasushi Hishikawa	3
Sakai	Kojiro Hirose	5
Sakai Northwest Southwest	Etsuzo Kimura	1
Wakayama Southeast	Takayuki Arimoto	4
Wakayama Southeast	Kazuo Sakaguchi	1
Wakayama Southeast	Taizo Kadoya	3
Wakayama Southeast	Seiji Kusumoto	2
Wakayama-Jonan	Hidehisa Uraguchi	1
Wakayama-Jonan	Mitsuyuki Yamana	1
Wakayama-Jonan	Yukio Ueno	2
Wakayama-Jonan	Yoshiaki Ide	3
Wakayama-Jonan	Yoshiaki Ide	BE



米山功労者
2013年1月



クラブ	氏名	表彰名
海南東	塩崎 博司	第 4 回 米山功労者 マルチプル
堺	広瀬 幸次郎	第 7 回 米山功労者 マルチプル
田辺	近藤 新治	第 3 回 米山功労者 マルチプル



米山功労クラブ
2013年1月



クラブ	表彰名
高師浜	第 24 回 米山功労クラブ
堺 フェニックス	第 14 回 米山功労クラブ
和歌山	第 29 回 米山功労クラブ



ハイライトよねやま155

1 寄付金速報 — 下半期は好発進 —

1月までの寄付金は、前年同期と比べて5.2%増、約4,900万円の増加です。普通寄付金が7.0%増、特別寄付金が4.2%増となりました。昨年7月からの累計額は9億9,400万円となり、過去5年間で2番目に多い寄付額となりました。会員皆様のご努力に深く感謝申し上げます。

1月は普通寄付金（クラブで決定した金額×会員数分を送金いただく定期寄付）の納入が主となる月です。これまでに全クラブの77%、1,752クラブから納入され、前年同期（68%、1,548クラブ）よりも早めにご送金いただいております。今後とも引き続きご支援賜りますよう、よろしくお願いいたします。

2 新規ロータリー米山奨学生が決定！

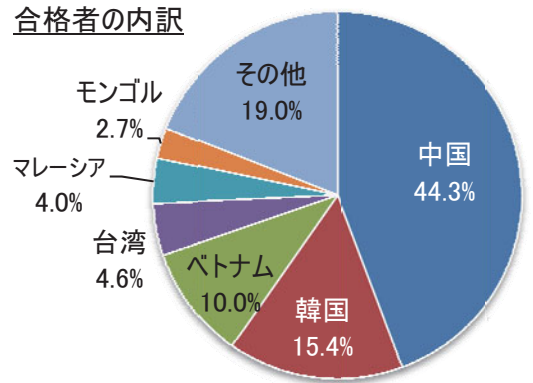
2013学年度・新規米山奨学生の面接選考が各地区で行われ、合格者519人（応募者数：1,532人）が決定しました。

奨学金プログラム別の合格者数は、博士・修士・学部課程奨学金が492人、地区奨励奨学金が10人、クラブ支援奨学金が10人、海外応募者対象奨学金（個人応募）が7人。このほか、海外学友会推薦奨学金が現在選考中です。

また、合格者の国籍・地域別割合は、中国44.3%、韓国15.4%、ベトナム10.0%、台湾4.6%の順となっています。今年は昨年度に比べ、中国・韓国・台湾以外の国籍割合が大きく増加しました。

今後、継続奨学生の辞退などによって合格者数は変動しますが、新規奨学生および昨年度からの継続奨学生を合わせた約700人が、2013学年度米山奨学生となります。

合格者の内訳



3 PETS・地区協議会で米山の紹介をお願いします

各地区で会長エレクト研修セミナー（PETS）が開催される季節となりました。当会からは毎年、PETSで米山記念奨学事業の説明時間を設けていただくことをお願いしています。

今年は、PETS用・地区協議会用それぞれに、下記資料を各地区ガバナーエレクト事務所にお送りします。ぜひご利用ください。

PETS

2月12日発送

- ① 豆辞典 → 各クラブ2部ずつ
- ② DVDシリーズ案内チラシ(申込書付き) → 各クラブ2部ずつ
- ③ <上映用>新事業紹介DVD『ひろがれ！人づくりの輪』 → 各地区1枚

地区協議会

3月末頃～
順次発送

- ① 豆辞典
 - ② 米山学友の群像 vol.2・vol.3
 - ③ クラブ米山奨学委員長の手引き
 - ④ 新事業紹介DVD『ひろがれ！人づくりの輪』
- 1～4まで各クラブ1部ずつ



4 多文化交流コンサート — 第 2800 地区米山学友会 —

第 2800 地区（山形県）米山学友会が主催する「山形から世界へ — 多文化交流コンサート」が 1 月 12 日、山形市内で開かれました。

このコンサートは今年で 3 回目。和田 廣ガバナーが開会の挨拶をつとめ、山形大学の留学生を中心とする約 30 人が、日本の伝統芸能・南京玉すだれに挑戦したり、母国の歌や演奏、自分で振付けをしたパフォーマンスを披露したりして、約 200 人の観客を楽しませました。

実行委員長をつとめる同学友会会長の尤銘煌さん（台湾／2003-04／津島 RC）は、「今回のコンサートのために、わざわざイギリスとオランダから来日してくれた元留学生もいた。米山奨学生や学友の参加をもっと促進し、より多くのロータリアンに聴きに来ていただけたら嬉しい」と、今後の抱負を語ってくれました。



5 日本の陸自と共にカンボジアのPKO技術向上をサポート



福井大学で建築建設工学を学び、母国カンボジアへ帰国した元米山奨学生、ナイ・チュムニットさん（2008-09／福井北 RC）から近況が届きました。

ナイさんは現在、「日本地雷処理を支援する会（JMAS: Japan Mine Action Service）」のスタッフとして、首都プノンペンから車で約 1 時間離れた「国家平和維持・地雷処理爆発性残存物除去センター」に設置された訓練センターで勤務しています。

このセンターでは 1 月下旬から 3 月下旬まで、日本の陸上自衛隊員らがカンボジア軍に対し、国連平和維持活動のための橋梁・道路構築技術を伝授する「能力構築支援事業」が行われています。ナイさんは日本で学んだ工学の知識を生かし、日本語で書かれた教育資料をカンボジア語に翻訳したり、講義の通訳をするなど、忙しい日々をおくっています。

6 訃報 評議員 増田一雄氏（第 2500 地区）逝去

当奨学会評議員の増田一雄氏（第 2500 地区）が、1 月 25 日にご逝去されました。享年 79 歳でした。増田氏は、2011-12 年度の国際ロータリー第 2500 地区ガバナーで、2010 年 8 月から当会評議員となられ、米山記念奨学事業の発展のために多大なご尽力をいただきました。

ここに謹んで哀悼の意を表し、氏のご冥福をお祈りいたします。

たくさんのご応募、ありがとうございました！

このたびは、「優秀米山学友賞」へ多数のご応募をいただき、ありがとうございました。自薦・他薦を含め、全国から 77 件のお申し込みをいただきました。今後は広報委員会、常務理事会の選考・承認を経て、3 月下旬に結果を発表いたします。



「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

最近の「ロータリー情報」より

- ◎「元気なクラブになるために」 桑原茂 2012 10p (D.2550 地区大会記念誌)
- ◎「元気なクラブになるために」 小船井修一 2012 14p (D.2550 地区大会記録)
- ◎「ロータリーがライラに期待するもの」 深川純一 [2012] 6p (第34回青少年指導者育成セミナー報告書)
- ◎「品格のあるスマートなクラブ その1-3」 深川純一 2012 3p (純ちゃんのコーナー PartXI)
- ◎「全国ロータリー・コーディネーターセミナー 抄録」 2012 6p (D.2500 月信)
- ◎「12月ロータリー家族月間について」 菅野多利雄 2012 1p (D.2520 月信)
- ◎「ロータリー財団のあらまし 1ロータリー財団の標語、使命、6つの重点分野 2わかりやすいロータリー財団モデル 3新しいロータリー財団」 D.2650 2012 3p (わたし達のロータリー財団 [わかりやすい財団テキスト])

[上記申込先：ロータリー文庫]

- ◎「世界からポリオの脅威を救うのは“あなた”です!!」 D.26502012 (7p)

[申込先：D.2650FAX(075)343-2651]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階

TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

RI超我の奉仕賞の受賞のお知らせ

2012-2013 年度 RI 超我の奉仕賞が決まりましたのでお知らせいたします。

本賞は、ロータリーの標語を真に実践しているロータリアンを表彰するため、1991 年に RI 理事会により設けられたロータリアンとして最高の栄誉な賞です。(ロータリージャパン記)

奉仕を通じて活躍しているロータリアンは数多くいますが、その中でもとりわけ奉仕を生活の一部として日々実践している卓越した人々を表彰することを目的としています。

国際ロータリーの現役員、元役員、中央役員から多くの推薦が寄せられましたが、超我の奉仕賞を受賞できるのは毎年世界中で最高 150 名までとなっています。RI 理事会は多数の優れた候補者の中から受賞者を選ぶことになりました。受賞者様には心よりお祝い申し上げます。



2012-2013 年度
RI 超我の奉仕賞受賞

米田 真理子 氏

(堺フェニックスロータリークラブ)

プロフィール

生 年 月 日 1949年5月1日生 堺市堺区在住
学 歴 大阪府立 大手前高等学校卒
大阪大学 薬学部薬学科卒 薬剤師
職 歴 1972年 大阪大学付属病院 薬剤部研修
1989年 (株) 東湖 代表取締役 (有) イーストレイク 代表取締役
米田薬局グループ CEO (社) 堺市薬剤師会元副会長 等公職多数
*NPO 法人 くすり関西21 研究機構 現理事長
*大阪大学 薬学部薬友会 現理事
ロータリー 歴 1997年 堺フェニックス RC 入会 チャーターメンバー
1998年 クラブ国際奉仕委員長
1999年 クラブ副会長
2001年 クラブ幹事
2002~05年 地区米山記念奨学委員会委員
2003年 地区ポリオプラス委員
2006年 クラブ会長 地区会員増強退会防止委員
2007年 地区米山記念奨学委員会委員長
2008年 地区米山記念奨学委員会委員長
2008年 地区ガバナーノミニー
2009年 地区ガバナーエレクト
2010年 地区ガバナー
2011年 地区バスターガバナー・地区研修リーダー・地区ガバナー指名委員会委員長
2012年 地区バスターガバナー・地区研修リーダー・地区ガバナー指名委員会委員
2013年 地区規定審議会代表議員
・公益財団法人 米山記念奨学会 理事
・公益財団法人 米山梅吉記念館 評議員
・RI 理事指名委員・地区 RLI 代表委員
* R 財団 大口寄付者 * 米山功労者 メジャードナー



Bridal支援委員会よりお知らせ

3月になり、今年度もいよいよ熟してまいりました。

Bridal支援委員会よりお知らせ申し上げます。縁結び資料が男女それぞれ十数通集まっています。会員各位の関係者のさらに多数の資料・情報をお寄せください。

送付先およびお問合せ先は以下までお願いします。

(お預かりする資料は、個人情報ですので厳密に扱わせて頂きます。)

【送付・問合せ先】

RI 第 2640 地区ガバナー

北中登一（大阪狭山RC）

〒580-0033 松原市天美南 5-22-1 TEL072-336-2688

Bridal 支援委員会

吉川寿一（大阪狭山RC）

〒589-0011 大阪狭山市半田 5-168-1 TEL090-5010-0423

Bridal 支援委員会

中井崇嗣（堺フェニックスRC）

〒532-0036 大阪市淀川区三津屋中 2-14-17 TEL090-2104-6155

平和フォーラムでアウンサンスーチーさんに平和賞を授与

記事：Arnold R. Grahl

2013年2月5日

1月25～27日、ホノルル（米国ハワイ州）で開催されたロータリー世界平和フォーラムにて、ミャンマーの民主化運動指導者で、ノーベル平和賞受賞者のアウンサンスーチー氏が基調講演を行い、同氏に対し、平和で非暴力的な方法で民主主義を実現した長年の功績を称え、「ハワイ平和賞」が授与されました。

20年間の自宅軟禁の末に2010年11月に解放された同氏は昨年、ミャンマーで民主化を推進する野党のメンバーとして、連邦議会議員に選出されました。

基調講演の中で同氏は、絶対的な平和の達成は困難ではあるが、それを目指して進まなければならないとし、人権を保証するには民主的な体制が必要であると訴えました。「私たちが欲する平和とは、恒久的な平和です。若い人たちに平和な国家構築の仕事の担ってもらえるよう支援する必要があります。前に進むためには、若い人たちの力が不可欠です」と述べた同氏は、平和構築における若者の役割の重要性にも触れました。ホノルルでの平和フォーラムは、平和プロセスへの若者の参加に焦点を当てたものです。講演のビデオはこちらをご覧ください。

若い人たちの参加

田中作次 RI 会長が今年度企画した3回の平和フォーラムの2回目となったホノルル平和フォーラム（1回目は昨年11月にベルリンで開催されました。3回目は、5月17～18日に広島で開催されます）には、1,800人以上のロータリアン、ロータリー学友、ロータリーの平和プログラムの支援者が集いました。

このフォーラムは、「平和にいたる緑の道」をテーマとし、平和推進における環境保全の重要性に焦点を当て、平和宣言も採択されました。

田中会長はフォーラムで次のように述べました。「ロータリーは教育、人道奉仕、若者とのつながりを通じて平和を構築しています。未永く続く平和を実現するためには、新世代の若者、その次の世代の若者に参加してもらい、ロータリーの平和構築活動を未来へ継承していけるよう彼らを支援する必要があります。健全な環境があつてこそ、私たちは自分の可能性を最大限に生かすことができます。基本的ニーズが満たされれば、紛争の原因も少なくなります。紛争に資源を費やしていない人々や国は、その分みんなの利益になることに対して資源を利用できます」

ルイス V. ジアイ RI 元会長が招集者を務め、3回のフォーラムの開催地は田中会長が選びました。その理由として、ベルリン、ホノルル、広島はすべて、第二次世界大戦によって大きな被害を受けた場所であり、現在は、国家間の持続可能な平和の力を象徴しています。

「第二次世界大戦後に育った私は、平和の重要性を目の当たりにしました」と田中会長。「平和構築を実現するのは一生かかる仕事です。毎日、世界中の34,000のクラブが、支援を必要としている人たちにきれいな水、医療、教育、そして希望をもたらすことで、より平和な世界の実現に努めています」

本で平和を構築する

ロン・バートン RI 会長エレクトは、このフォーラムに対するコメントの中で、以前にテキサス州サンアントニオで参加した本の寄贈行事で、新しい本を手にした子どもたちを見た時の体験について触れました。「本を手渡すことは、その子どもに自分が大切な存在であると分かってもらうためであり、そのように直接、クラブや一人ひとりのロータリアンが手渡すというのがロータリーなりのやり方」であるとし、「どうすればより平和な世界を構築できるでしょうか。一人のロータリアンが一人の子どもに最初の本を手渡すこと。これこそその始まりです」

ロータリー・クラブは長年、飢餓、貧困、疾病、非識字など、紛争の原因となる問題に草の根レベルで取り組むことによって、平和の実現に尽力してきました。また、ロータリーは 2002 年からロータリー平和センター・プログラムを開始し、国際的に活躍できる平和構築者の育成を行っています。ロータリー・クラブは毎年、60 名までの平和フェローを選考し、フェローは世界中のロータリー平和センターで平和と紛争解決の分野における修士号または専門能力開発修了証の取得を目指しています。

(<http://www.rotary.org/> より)

持続可能なプロジェクトを行う2つのクラブ

記事：Vanessa Glavinskas

ロータリー・ニュース：2013年2月14日

二人のロータリアン、ウォルト・シャーファーさん（米国、チコ・ロータリー・クラブ）とサディキエル・キマロさん（タンザニア、モシ・ロータリー・クラブ）は、5年間に及ぶプロジェクトでの協力を通じて、持続可能性の大切さを学びました。

「協力相手と連絡を取ることが重要」と話すシャーファーさんは、プロジェクト実施地の住民であるキマロさんと、Eメールや電話で頻りに連絡を取り合ってきました。二人が所属するクラブは、2008年以来、植樹、学校への給水システムの提供、虫下しの配布、経済発展プロジェクトなど、多くのプロジェクトを協力して実施し、その影響は、キマロさんの地元だけでなく、周辺の農村にも及んでいます。

今回、両クラブは、ビデオ、「10 Key Points for a Successful International Rotary Project」（国際的なロータリー・プロジェクトを成功させる10のポイント）を作成しました。ビデオでは、クラブ会員からの幅広い参加、クラブ間の強力なパートナーシップ、地域住民の参加、地域リソースの活用など、10のヒントが紹介されています。

クラブ間の協力は、チコ・クラブがアフリカで安全な水を提供することを目標にし、シャーファーさんが非営利組織のAfricareに連絡したことがきっかけとなりました。キリマンジャロ地域の人々がきれいな水を必要としていることを知ったシャーファーさんは、地元のモシ・クラブで当時のクラブ会長だったキマロさんに電話をし、プロジェクトのアイデアを伝えました。その後、両クラブの賛成を得て、協力関係が成立しました。

両クラブの協力による活動は、水と衛生に的を絞った活動から始まり、その後、同様のプロジェクトを周辺地域でも実施しながら、プロジェクトの裾野を広げていきました。

ロータリーの6つの重点分野にも注目し、真に重要なニーズを把握するために、地域住民との話し合いも行いました。「何が必要とされるか住民に尋ね、優先すべき事柄から離れないように気をつけた」とシャーファーさん。結果的に、5つの重点分野に関連する活動を実施しました。「それぞれ独立したプロジェクトに聞こえるかもしれませんが、いずれも同じ地域で、同じクラブが実施したものです」

プロジェクト資金は、財団のマッチング・グラントとクラブの資金によって賄われました。また、その後、両クラブが所属する地区が、ロータリー財団の未来の夢計画（新しい補助金モデル）の試験地区となったため、グローバル補助金も利用しました（新しい補助金モデルは、2013年7月より全地区に導入されます）。

両クラブは、グローバル補助金のためのオンライン申請プロセスを、いち早く使用しました。当初は複雑だった申請手続きも、現在はオンラインで簡単に申請できるようになったとシャーファーさんは話します。

また、グローバル補助金では、より多くのクラブや地区が協力するようになるため、それだけ利用できるリソースが増え、ニーズのある地域社会で大きな影響を与える持続可能なプロジェクトが実施できると、キマロさんは付け加えます。

両クラブは現在、新たなプロジェクトを実施するため、3回目となるグローバル補助金の申請を行っています。これが承認された場合、これまでにタンザニア北部で実施されたすべてのプロジェクトを含め、活動資金の総額は529,000米ドルとなります。今回のグローバル補助金では、地域全体の水システムの改善、医療クリニックの開設、図書館への太陽光システムの設置、コンピューター室の設置のほか、農家を対象に効率的な販売方法の研修を行うことが目標です。

「大きな影響を生むことができるから、何年間もこの活動を続けてきた」とシャーファーさん。「多くのプロジェクトが実施され、さまざまな団体が活動するのを見てきましたが、いつも活動後のフォローアップが不十分でした。私たちは持続可能性を重視し、模範的なプロジェクトを示すために、この活動を続けてきたんです」

行事報告

- ▶ 2月3日(日) インターアクトクラブ三者交流会
河内長野市民交流センター KICCS



- ▶ 2月10日(日) 青少年交換 第4回長期受入学生オリエンテーション
伊勢研修



- ▶ 2月17日(日) インターアクトクラブ海外研修報告会
開智中学校・高等学校



- ▶ 2月24日(日) RLI 卒後コースB
スターゲイトホテル関西エアポート

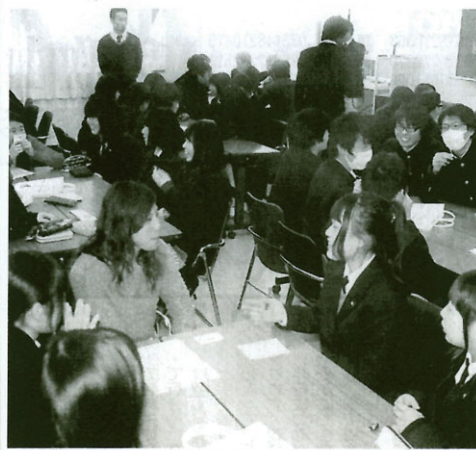


▶ 2月20日(水)～21日(木) 米山記念奨学委員会ワークショップ
～米山記念奨学生、新宮高校、新宮 RC との交流会～



25 和歌山 2013年(平成25年)2月26日(火)

毎日新聞



留学生(私服姿)と会話する興立新宮高校の生徒ら—新宮市で

新宮 新宮市の興立新宮高校(七瀬高至校長)をこのほど、中国や韓国、ベトナムなど7カ国からの留学生13人が訪れ、同校生徒と交流した。

留学生らはロータリー米山記念奨学会の奨学金を受け、和歌山大や大阪府立天など近畿地方の9大学に在学している。留学生に触れることが少ない紀南地域の高校生が国際交流をする機会に、国際ロータリー第2640地区が企画した。

交流会では同校の2年生2クラスとE.S.S部の計約80人と留学生で13グループに分かれ話し合った。英語で自己紹介など

新宮高 留学生来訪、生徒と交流

をした後、日本語で「日本(人)の良いところ、悪いところ」をテーマに意見を出し合い、悪いところとして、生徒からは「はっきりと『いいえ』と言わないこと」などの声が出た。

国際ロータリー第2640地区は大阪府の大和川以南と和歌山県全域が範囲で、交流会には同地区委員や新宮ロータリークラブのメンバー計約20人も参加した。

オーストリアからの留学生と話した尾崎光希子さん(2年)は「国によっての違いや、どうして日本に興味を持ったのかがよく分かった」と話していた。【藤原弘】

生の会話で国際力UP

(2013年2月26日掲載)

▶ 2月23日(土) ローターリー広報活動(地区雑誌・広報委員会)
 ~関西国際空港~



ロータリーが
 関空で活動PR
 第2640地区メンバーら
 国際ロータリー第2

640地区(泉州・南河内地域と和歌山全域)はロータリー創立記念日の23日、関西国際空港4階「翼の広場」で、お茶席を設けるなど活動PRを行った。また24日まで、海外での病院・デイケアセンター建設、教育保健援助、東日本大震災での被災地支援などの写真展も開いている。この日は羽田空港でも、東京のメンバーが同様のPRを行った。【嶋谷泰典】



ロータリークラブの案内でお茶席を楽しむ参加者たち―関西国際空港で

の写真展も開いている。セレモニーでは、北中登一ガバナーが「世界中でいまだに紛争は絶えないが、ロータリーの希求する平和をぜひ実現したい。病氣・貧困との闘いも進めていて、ポリオ撲滅まであと一歩と迫っている」とあいさつした。参加したメンバー、交換留学生など約100人が、搭乗客らにお茶席でお茶の接待をしたり、パンフレットなどを配りながら、活動への理解を呼びかけ。ポリオと東日本大震災への募金も行った。また1カ月間、空港内12台の電子情報端末で、活動の様子が放映されている。この日は羽田空港でも、東京のメンバーが同様のPRを行った。

(2013年2月24日掲載)

第2640地区 出席報告 (2013年1月)

クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	1月 出席率	平均 出席率	クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	1月 出席率	平均 出席率
	12.7.1	1月末	1月	累計	1月	累計					12.7.1	1月末	1月	累計	1月	累計			
有田	29	30	1	2	0	1	4	85.13	86.26	大阪狭山	11	10	0	2	0	1	4	90.00	79.40
有田南	32	33	0	1	0	0	4	91.01	91.33	りんくう泉佐野	20	20	0	0	0	0	4	82.67	86.98
有田2000	15	15	0	0	0	0	4	96.67	96.33	堺	67	66	1	3	0	4	4	91.67	90.42
藤井寺しゅら	8	7	0	0	0	1	4	91.00	89.38	堺東	31	31	0	1	1	1	3	96.63	97.65
御坊	48	46	0	0	0	2	3	72.80	79.19	堺北西南西	16	16	0	0	0	0	4	79.99	81.23
御坊東	15	12	0	0	0	3	4	91.67	89.63	堺泉ヶ丘	24	24	0	0	0	0	4	92.71	92.41
御坊南	28	28	0	1	0	1	4	80.16	80.36	堺北	28	28	0	0	0	0	3	91.66	91.74
羽曳野	14	17	2	3	0	0	4	90.69	92.38	堺南	20	21	0	1	0	0	2	95.00	87.94
羽衣	15	14	0	1	1	2	4	82.96	87.46	堺中	21	23	0	2	0	0	4	65.28	73.59
橋本	51	49	1	1	1	3	3	92.42	91.39	堺西	16	16	0	0	0	0	4	86.19	86.02
橋本紀ノ川	10	10	0	0	0	0	4	95.00	95.07	堺おおいずみ	30	29	0	0	0	1	4	85.16	86.24
岩出	29	29	0	0	0	0	4	86.76	89.74	堺フェニックス	27	25	0	2	0	2	4	92.07	88.74
和泉	25	25	0	0	0	0	4	86.00	84.18	堺清陵	16	16	0	0	0	0	5	89.33	92.98
和泉南	28	29	0	1	0	0	4	58.62	61.71	堺東南	11	9	0	0	0	2	4	93.75	91.02
泉大津	44	43	0	0	0	1	3	84.67	84.08	堺フラワー	32	30	0	3	0	5	4	92.00	96.00
泉佐野	33	33	0	1	0	1	4	85.63	87.05	泉州 KUMATORI	25	70	0	48	0	3	4	100.00	98.60
海南	35	30	0	0	0	5	3	76.70	73.19	新宮	62	62	0	1	0	1	4	81.46	82.59
海南東	55	53	2	3	0	5	3	78.18	76.57	白浜	11	8	0	0	1	3	3	95.83	95.68
海南西	18	18	0	0	0	0	4	80.83	84.37	太子	10	11	0	1	0	0	3	69.70	70.80
貝塚	17	18	0	1	0	0	4	93.05	91.34	高石	29	29	0	0	0	0	4	76.70	75.83
貝塚コスモス	17	15	0	0	2	2	4	84.34	75.35	高師浜	15	15	0	0	0	0	4	91.67	90.38
関西国際空港	18	21	0	5	0	2	4	89.29	78.05	田辺	84	84	0	1	0	1	4	84.81	83.93
河内長野	29	30	0	1	0	0	3	75.90	76.40	田辺はまゆう	48	46	0	1	0	3	4	79.45	83.86
河内長野東	24	26	0	2	0	0	4	78.56	79.67	田辺東	46	52	0	6	0	0	4	91.75	94.93
岸和田	33	33	0	0	0	0	4	80.51	80.17	富田林	37	37	0	0	0	0	4	78.64	78.51
岸和田東	42	41	0	0	0	1	3	91.23	93.23	富田林南	16	15	0	0	0	1	4	81.67	83.61
岸和田北	13	12	0	0	0	1	4	100.00	100.00	和歌山	66	63	0	2	3	5	4	78.33	81.12
岸和田南	15	15	0	0	0	0	4	80.36	82.57	和歌山アゼリア	32	32	0	1	0	1	3	92.67	88.19
粉河	20	18	0	0	0	2	4	100.00	98.00	和歌山東	44	45	2	2	0	1	4	89.18	88.46
高野山	18	17	0	0	0	1	3	77.33	85.82	和歌山城南	37	42	0	6	0	1	4	87.79	87.31
串本	14	14	0	3	0	2	4	62.15	63.30	和歌山北	42	40	0	0	0	2	3	82.88	79.07
松原	26	26	0	0	0	0	4	100.00	98.59	和歌山南	86	84	1	3	0	5	3	79.33	81.68
松原中	21	20	0	0	0	1	4	82.17	81.36	和歌山中	29	29	0	1	0	1	3	90.55	88.64
美原	13	12	0	1	0	2	3	88.70	91.00	和歌山西	16	16	0	1	0	1	4	100.00	100.00
那智勝浦	17	16	1	1	0	2	4	91.67	79.13	和歌山東南	50	50	0	2	0	2	4	78.93	82.21
大阪千代田	0	20	0	30	0	10	4	92.50	90.30	Rotary E-Club Sunrise of Japan	4	19	0	15	0	0	5	100.00	100.00
大阪金剛	22	22	0	0	0	0	4	78.40	88.80										

クラブ	7月1日クラブ会員数			1月末クラブ会員数			1月平均 出席率	入会		退会	
	男性	1915	女性	148	男性	1932		女性	178	1月	累計
73	2063			2110			86.14	11	163	9	111

【7月1日入会7名】

【7月1日退会2名】

【大阪千代田RC 8月22日RI加盟認証】

【12月21日付けにて泉南ロータリークラブがRI から脱会しました】